

# 「保育園落ちたの私だ」は他人事ではない！ 党議員団が保育所担当部署と懇談

「保育園落ちた・・・」というインターネット上のブログがきっかけとなり、全国で待機児童問題が噴出したことから国会でも取り上げられ、政府があわてて対策を打ち出さざるを得なくなりました。この問題は西宮市も例外ではなく、4月から市の部局体制も新たに変更されたことから、党議員団は4月20日に担当部署と懇談を行いました。

## 認可保育所整備こそ急務

西宮市において3月議会で明らかになったように、0歳児から5歳児を預かる認可保育所の今年4月申し込みは約2500人で、入居不承認(落選)は843人。昨年も4月時点で国基準の待機児童は76人と発表されましたが、実際に入れなかったのは469人でした。

こうした全国的な現状に対し、政府が打ち出した緊急対策は、本来の面積要件や保育士配置基準を緩和し、子どもをさらに詰め込もうとするものです。また、保育士不足の大きな要因である低賃金の底上げからも程遠いものに。つい最近も、東京や大阪の認可外保育所で乳幼児の死亡事故が起きましたが、保育基準の緩和は質の低下につながり、命まで危険にさらします。

懇談の中で党議員団は、待機児童の解消は国が進める民間任せや基準緩和でなく、認可保育所(分園を含

む)を増やすことが急務であると、早急な保育所整備を求めました。

当局からは、6月初めには待機児童数の発表とともに、なんらかの対策を打ち出すことが示されました。

## 共産党の待機児童問題緊急提言

(要旨)

### ●30万人分(3000か所)の緊急増設

- ・国と自治体が先頭に立って公立保育所をつくる
- ・土地確保のための国有地の無償提供、国庫補助制度をつくる
- ・「国による新たな財政支援制度」を創設(公立保育所の建設、分園設置・改修を補助、運営費の国庫負担分復活など。民間の認可保育所建設にも助成拡大、利子補給など)
- ・地域の保育ニーズをつかんで対策を進める

### ●保育士の賃上げと配置基準引き上げ

- ・賃金を緊急に月5万円以上引き上げる法案の成立をはかる。その後も全産業平均との格差をなくするため毎年1万円引き上げ、5年で10万円引き上げる
- ・配置数を適正化するなど、国の決める運営費を引き上げ、労働条件を改善する
- ・専門性にふさわしい処遇にする(経験による賃上げが11年で頭打ちになる制度を是正。研修、準備や事務の時間を確保できる運営費に改善)
- ・非正規の使い捨てをやめ、正規化をすすめる

当局と懇談する党議員団



## 市役所本庁トイレ基が洋式化に

この間、公共施設トイレの洋式化を求めてきた党議員団。小学校では早期に50パーセントを洋式化するという答弁を引き出しました。

市民の方がよく利用される本庁一階売店横トイレについても、昨年からの設置の可能性の検討がおこなわれ、このたび洋式化に改修されることとなりました。すでにゴールデンウィーク前から女子トイレの1ブースで工事が行われています。今後、党議員団は、さらに公共施設のトイレ洋式化に向けて頑張ります。

